M-AUDIO®

Axiom® DirectLink for Pro Tools®

ユーザー・ガイド

法的通知

製品の機能、仕様、システム要件、および販売に関しては、予告なく変更される場合があります。

ガイド・パーツ・ナンバー 9329-65026-00 REV A 5/10

文書フィードバック

弊社は常に取扱説明書の品質の向上に努めています。弊社マニュアルに関するご意見、訂正、またはご提案がありましたら、**techpubs@avid.com** まで電子メールをお送りください。

目次

第 1 章 はじめに

このガイドは、Axiom® コントロールを Pro Tools® 8.0.4 以降の共通の機能に自動的にマッピングする DirectLink について説明しています。DirectLink は、Axiom を「専用」ハードウェア・コントローラのようにする統合レベルのある 2 つの明確な操作モードを備え、Pro Tools との双方向のコミュニケーションを実現します。

Pro Tools が起動されると、DirectLink はデフォルト状態の［ミキサー・モード］（Mixer Mode）で有効になります。［ミキサー・モード］の場合、Axiom フェーダー、ボタンおよびノブは第 3 章の「DirectLink の Axiom コントロール」で説明しているようにパン、トラック選択、ミュート、ソロ、レコードアーム、トラックやマスター・チャンネル・ボリュームなどの Pro Tools ミキサー機能にマッピングされます。

［ミキサー・モード］は Pro Tools Mixer を効果的にコントロールしますが、Axiom DirectLink もセッションでバーチャル・インストゥルメントを直接コントロールできます。セッション内でバーチャル・インストゥルメントをコントロールする最初の手順は、専用トラック「<」および「>」ボタンを使用して「ターゲット」トラックを選択することです。

ターゲット・トラックは Axiom がコントロールするトラックを判定します。ターゲット・トラックにバーチャル・インストゥルメントがある場合、［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押すと、そのインストゥルメントのデフォルトの「マップ」ファイルを基準にすべての Axiom コントロールを最も便利なパラメータにマッピングします。それぞれの AIR インストゥルメントには、対応する Axiom インストゥルメント・マップ（別名、カスタム・プラグイン・マップ）があります。Axiom インストゥルメント・マップは www.m-audio.com/directlink からダウンロードしてインストールできます。Axiom インストゥルメント・マップについての詳細は第 4 章の「［インストゥルメント］（Instrument）モード」からも入手できます。

DirectLink が［インストゥルメント］（Instrument）モードかどうかにかかわらず、［インストゥルメント］ボタンは点灯し、インストゥルメントをコントロールしていることを確認します。［パッチアップ］（Patch Up）および［パッチダウン］（Patch Down）ボタンを押すと、対称インストゥルメントでサウンドをオーディションして選択するためにパッチ間を移動できます。［トラック］（Track）ボタンを押すと、隣接するトラックをターゲットにするため、1 つのインストゥルメントから別のインストゥルメントに切り替えることができます。

［インストゥルメント］（Instrument）ボタンを 2 回押すと、Axiom が［ミキサー］（Mixer）モードになります。［インストゥルメント］（Instrument）ボタンを押したままにすると、ターゲット・トラックでバーチャル・インストゥルメント・ウィンドウが開き、マッピングされた Axiom を使用するのに合わせリアルタイムで画面上のコントロールの更新を参照できます。［インストゥルメント］ボタンを再度押すと、［インストゥルメント］ウィンドウが閉じます。

［インストゥルメント］（Instrument）モードは［Axiom トランスポート］（Axiom Transport）ボタンには影響を与えず、Pro Tools の相手にマッピングされたままになります。

この章では、Axiom で DirectLink を使用することにより、ワークフローをどのように向上させることができるか説明していますが、この『ユーザー・ガイド』の残りも注意してお読みください。Axiom ユーザー・ガイドと合わせて、Pro Tools で Axiom Keyboard を最大限活用する方法について説明します。

DirectLink の要件

システム要件

最新のシステム要件については、www.m-audio.com をご覧ください。

Pro Tools ソフトウェア

DirectLink にはバージョン 8.0.4 以降の Pro Tools が必要です。Pro Tools のそれ以前のバージョンは DirectLink をサポートしません。Pro Tools ソフトウェアをアップグレードするための詳細については、http://www.avid.com をご覧ください。

Axiom ドライバ

DirectLink Keyboard Personality は Pro Tools 8.0.4 以降に付属しており、追加ドライバなしに使用できます。ただし、Windows ユーザーは次を行う場合には最新の Axiom ドライバを www.m-audio.com/support からダウンロードしてインストールすることを強く推奨します。

- 同時に複数のアプリケーションをコントロールする。
- クラスコンプライアント対応のその他 USB オーディオ・デバイスを使用する。
- 長いシステムエクスクルーシブ（SysEx）コマンドを使用する。

Windows ドライバのインストール、Windows および Mac OS X 両方の Axiom 設定の詳細については、『Axiom ユーザー・ガイド』の「ドライバのインストール」の章を参照してください。

Axiom ハードウェア

DirectLink では、Axiom がホスト・コンピューターに接続されている必要があり、このガイドではプロセスがすべに完了していることを前提としています。インストールと接続手順は『Axiom ユーザー・ガイド』に説明があります。

⚠ 適格なレコーディング・アプリケーションのリストと現在の Windows ドライバ、追加 DirectLink インストーラ、およびユーザー・ガイドについては、www.m-audio.com にあります。

第 2 章 ProTools を設定する

設定手順

Pro Tools 8.0.4 以降には、必要な M-Audio Keyboard Personality for DirectLink が付属しています。次に示す手順は、Pro Tools for DirectLink を設定するプロセスを示します。

Pro Tools for DirectLink を設定するには：

1 Pro Tools を起動します。

2 ［設定］（Setup）＞［ペリフェラル］（Peripherals）を選択します。

3 表示されるウィンドウで［MIDI コントローラー］（MIDI Controllers）タブを選択します。

4 M-Audio Keyboard をコントロール・サーフェスのタイプとして選択します。

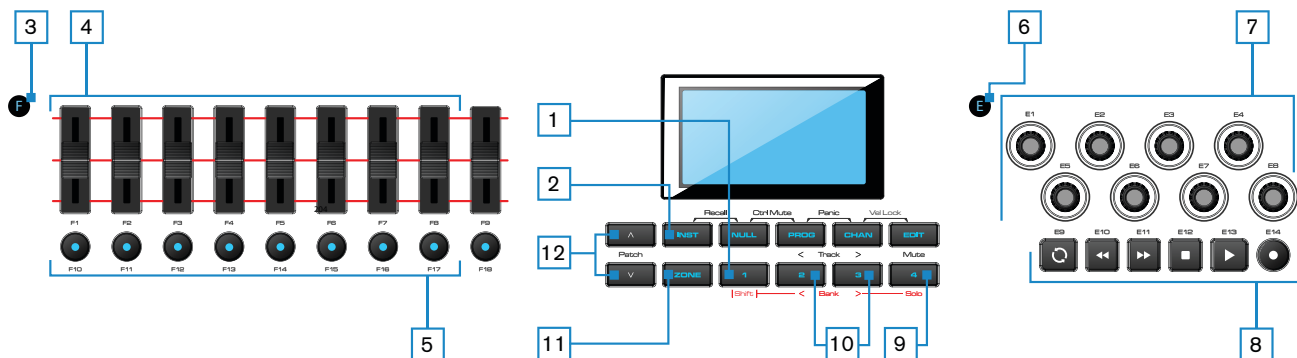
5 DirectLink をインプットおよびアウトプット MIDI ポートとして選択します。

6 チャンネル数で 8 を選択します。

7 ［OK］をクリックし、ウィンドウを閉じます。

8 Axiom は［DirectLink モード］（DirectLink Mode）となり、Pro Tools をコントロールできるようになります。

Pro Tools が起動されるたびに、DirectLink は自動的に Axiom コントロールを起動してマッピングします。

第 3 章 DirectLink の Axiom コントロール

この章では、DirectLink で Pro Tools の適格バージョンをコントロールする場合の Axiom コントロールの動作について説明します。該当する場合、［ミキサー］（Mixer）モードと［インストゥルメント］（Instrument）モードの両方について説明します。

1 ［Shift］ボタン

このボタンは［フェーダー］（Faders）ノブおよび［エンコーダー］（Encoder）ノブ、さらには［ミュート］（Mute）および［トラック］（Track）（< および >）ボタンの代替機能にアクセスするために使用されます。

2 ［インストゥルメント］（Inst）ボタン

DirectLink は次に説明するように 2 つの異なる操作モードを提供します。

［ミキサー］（Mixer）モード

これは、Axiom のフェーダー・ノブ、エンコーダー・ノブとデフォルトのフェーダー・ボタンを対応する Pro Tools ミキサー機能にマッピングする DirectLink モードです。

マッピングされた Axiom コントロールが移動されるか押されると、LCD 画面が現在のトラック名とコントロール値を表示し、トラック名に戻ります。

［インストゥルメント］（Instrument）ボタンを押すと、Axiom コントロールが［インストゥルメント］（Instrument）モードになります。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押すと、［インストゥルメント］モードが選択されます。LCD 画面はコントロールされているインストゥルメント名を一時的に表示し、ターゲット・トラックの名前を元に戻します。これは、Axiom フェーダー、フェーダーボタン、エンコーダー・ノブを Pro Tools セッションでターゲット・トラック内のインストゥルメント・パラメータにマッピングします。

⚠ ターゲット・トラックは MIDI ノート記録先を指定し、Axiom キーボードから送信されるデータをコントロールします。

マッピングされた Axiom コントロールが移動されるか押された場合、現在の機能またはパラメータの割り当てとその値が LCD 画面上に表示され、ターゲット・トラック名に戻ります。

［インストゥルメント］（Instrument）ボタンを押すと、Axiom が［ミキサー］（Mixer）モードに戻ります。［インストゥルメント］ボタンを押したままにすると、ターゲット・トラックのウィンドウを開いて閉じます。

⚠ ［Axiom トランスポート］、［シフト］、［トラック選択］および［ミュート / ソロ］ボタンは［インストゥルメント］ボタンの影響は受けず、Pro Tools への割り当てを保持します。

3 ［グループ F］（Group F）ボタン

［グループ F］ボタンはデフォルトで点灯し、9 つのすべての Axiom フェーダーと［フェーダー］ボタン（F1 ～ 18）が DirectLink モードになっていることを示します。このボタンが押されると、点灯しなくなり、フェーダーとボタンが DirectLink 割り当てから解除され、アクティブなパッチに従ってマッピングされます。

［グループ F］ボタンを再度押すと、すべてのコントロールが DirectLink 割り当てに戻ります。このボタンが点灯すると、グループが DirectLink モードにあることを確認します。

4 フェーダー

［ミキサー・モード］（デフォルト）（Mixer Mode（Default））

Axiom 49 と 61 では、最初の 8 つのフェーダー（F1 ～ F8）は 8 つのトラックに現在選択されているバンクのトラック・ボリュームをコントロールします。アクティブ・バンク（例 1 ～ 8）は次に示すように Pro Tools ミキサーの低い端に合わせて青で強調表示されています。

最も右のフェーダー（F9）と Axiom 25 の 1 つのフェーダーは Pro Tools セッションのマスター・フェーダーにマッピングします。セッションに複数のマスター・フェーダーがある場合、これらのフェーダーは最も右（最後）のマスター・フェーダーにマッピングします。ただし、セッションにマスター・フェーダーが含まれていない場合、影響はありません。

Axiom フェーダーが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

フェーダーはターゲット・トラック内のバーチャル・インストゥルメントにパラメータをマッピングします。

Axiom フェーダーが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

［Shift］ボタンを押しながら Axiom フェーダーを移動すると、現在のパラメータ割り当てと値を参照または「覗く」ことができます。

5 ［フェーダー］（Fader）ボタン

［ミキサー・モード］（デフォルト）（Mixer Mode（Default））

Axiom 49 と 61 では、最初の 8 つのボタン（F10 ～ F17）は Pro Tools で 8 つのトラックに現在選択されているバンクにマッピングされ、デフォルトでそれぞれのボタンが押されると Pro Tools トラックをターゲットにします。

最も右のボタン（F18）を押すと、F10 ～ F17 のボタンを［レコードアーム］（Record Arm）モードに切り替えます。LCD 画面は「アーム」を表示し、現在の操作モードを示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがレコーディングのために配備されます。

ボタン F18 を再度押すと、ボタン F10 ～ F17 を［ミュート］モードに切り替え、LCD 画面が「ミュート」を表示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがミュートされたことを示します。

ボタン F18 をもう一度押すと、ボタン F10 ～ F17 を［ソロ］モードに切り替え、LCD 画面が「ソロ」を表示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがソロになり、その他のすべてがミュートされます。

⚠ ボタン F18 は「付箋キー」として動作し、初めて押されると LCD 画面がボタン F10 ～ F17 の現在のモードを表示することを意味します。ボタン・モードを変更するには、表示がタイムアウトする前に F18 を再度押す必要があります。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

ボタン F10 ～ F17 はターゲット・トラック内のバーチャル・インストルメント・パラメータにマッピングされします。

マッピングされた Axiom ボタンが押されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

フェーダー・ボタン F18 は DirectLink が［インストゥルメント］モードの場合に点灯します。このボタンを押すと、フェーダーと［フェーダー］ボタンを［ミキサー］モードに「反転」させ、エンコーダーが［インストゥルメント］モードのままになります。F18 を再度押すと、フェーダーと［フェーダー］ボタンが［インストゥルメント］モードに戻ります。

6 ［グループ E］（Group E）ボタン

［グループ E］ボタンはデフォルトで点灯し、8 つのすべての Axiom エンコーダー・ノブ（E1 ～ E8）が DirectLink モードになっていることを示します。このボタンが押されると、点灯しなくなり、ノブが DirectLink 割り当てから解除され、現在アクティブなプリセット・パッチに従ってマッピングされます。

［グループ E］ボタンを再度押すと、すべてのコントロールが DirectLink 割り当てに戻ります。このボタンが点灯すると、グループが DirectLink モードにあることを確認します。

⚠ ［Axiom トランスポート］ボタンは［グループ E］ボタンの影響は受けず、DirectLink 割り当てをそのまま保持します。

7 ［エンコーダー］（Encoder）ノブ

［ミキサー］（Mixer）モード

［エンコーダー］ノブ（E1 ～ E8）は Pro Tools Mixer の［パン］ノブをコントロールします。ステレオ・トラックの場合、これらのエンコーダーはデフォルトで［左パン］（Left Pan）ノブをコントロールします。ただし、［Shift］ボタンを押したままエンコーダー・ノブを回すと、ステレオ・トラックの［右パン］（Right Pan）ノブをコントロールします。

ノブが移動されると、LCD 画面が現在のトラック名とパン（Pan）の値を表示します。

[インストゥルメント]（Instrument）モード

エンコーダー・ノブはターゲット・トラック内のバーチャル・インストゥルメントにパラメータをマッピングします。

LCD 画面はノブが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てに加えて、現在の値を表示します。

［Shift］ボタンを押しながらコントロールを移動すると、現在のパラメータ割り当てと値を参照または「覗く」ことができます。

8 [トランスポート]（Transport）ボタン

［ミキサー］モードと［インストゥルメント］モードの両方で、これらのボタンは Pro Tools の対応するボタンにマッピングされ、次に説明する機能をコントロールします。

[巻き戻し]（Rewind）- このボタンは前のバー（またはメイン・カウンターが時間またはサンプルを表示するように設定されている場合は時間 / サンプル定義）の最初にスキップします。このボタンを押したままにするとボタンを離すまで Pro Tools トランスポートを巻き戻します。

[早送り]（Fast Forward）- このボタンは次のバー（またはメイン・カウンターが時間またはサンプルを表示するように設定されている場合は時間 / サンプル定義）の最初に移動します。このボタンを押したままにするとボタンを離すまで Pro Tools トランスポートを巻き戻します。

[停止]（Stop）- このボタンは再生またはレコーディングを停止します。

[再生]（Play）- このボタンは再生またはレコーディングを開始します。

[レコード]（Record）- このボタンは Pro Tools トランスポートの絵 r コードを可能にします。

[最初に戻る]（Return to Start）- ［巻き戻し］を押しながら［ループ］（Loop）ボタンを押したままにすると、Pro Tools セッションの最初にスキップします。

[最後に移動]（Go to End）- ［早送り］ボタンを押しながら［ループ］ボタンを押したままにすると、Pro Tools セッションの最後に移動します。

[元に戻す]（Undo）- ［停止］ボタンを押しながら［ループ］ボタンを押したままにすると、前回実行したアクションを取り消します。これは、［編集］メニューから［元に戻す］を選択するのと同じです。

[ループ再生]（Loop Play）- ［再生］を押しながら、［ループ］ボタンを押したままにすると、Pro Tools トランスポートで指定するループ開始点と終了点でループ再生を行います。これらのボタンを再度押すと、ループ再生が停止します。

[ループ・レコード]（Loop Record）- ［レコードを押しながら［ループ］を押したままにすると、「ループ・レコード」機能が有効になります。これらのボタンを再度押すと、［ループ・レコード］が停止します。

9 【ミュート】（Mute）ボタン

［ミキサー］と［インストゥルメント］モードの両方において、［ミュート］ボタンは次の機能を実行します。

デフォルトでは、このボタンを押すと、Pro Tools セッションのターゲット・トラックをミュートします。

［Shift］ボタンを押しながらこのボタンを押すと、Pro Tools トラックで［ソロ］ボタンをコントロールします。

10 【トラック】（Track）ボタン

［ミキサー］と［インストゥルメント］モードの両方において、これらのボタンは Pro Tools セッション内でターゲット・トラックまたは 8 つのトラックのバンクを選択します。

- **トラック選択 -** 左トラック・ボタン (<) はセッションの前のトラックをターゲットにします。たとえば、トラック 2 が現在ターゲットにされている場合、このボタンを押すとトラック 1 をターゲットにします。右トラック・ボタン (>) は次のトラックをターゲットにします。たとえば、トラック 2 が現在ターゲットにされている場合、このボタンを押すとトラック 3 をターゲットにします。LCD 画面にトラック名が表示されます。ターゲットがバーチャル・インストゥルメントのインストゥルメント・トラックの場合、レコーディングのために配備され、キーが押されると、インストゥルメント・サウンドが聴こえます。［インストゥルメント］モードがアクティブな場合、コントロールはターゲット・トラック内のインストゥルメントにマッピングされます。

  また、これらのボタンは 8 トラックの中の現在アクティブなバンクの外でトラックをターゲットするのに使用されます。たとえば、トラック 8 が現在ターゲットされていて、> トラックボタンが押されると、トラック 9 がターゲットされます。Axiom フェーダーとその対応するボタンはトラック 9 ～ 16 をコントロールするようになりました。

- **バンク選択 -** ［Shift］ボタンを押したままにしていると、左トラック・ボタン (<) で 8 つのトラックの前のバンクを選択します。たとえば、トラック 9 ～ 16 のバンクが現在選択されている場合、［Shift］を押したままでこのボタンを押すと、トラック 1 ～ 8 のバンクを選択します。右トラック・ボタン (>) は 8 つのトラックの次のバンクを選択します。たとえば、トラック 9 ～ 16 のバンクが現在選択されている場合、［Shift］を押したままこのボタンを押すと、トラック 17 ～ 24 のバンクを選択します。

11 【ゾーン】（Zone）ボタン

このボタンは個々の［ゾーン］（Zone）ボタン（1、2、3、および 4）にアクセスするために使用します。

キーボードを分割または層状にするためにゾーンが使用されます。［ゾーン］ボタンがアクティブな場合、［Shift］、［トラック］および［ミュート］ボタンは DirectLink モードでは機能しません。［ゾーン］ボタンを押すと、これらのボタンが DirectLink に戻ります。

詳細ついては、『Axiom ユーザー・ガイド』の第 7 章「キーボード・ゾーン」を参照してください。

12 【パッチ】（Patch）ボタン

これらのボタンはバーチャル・インストゥルメント・サウンド・パッチを選択するために使用されます。

第４章 ［インストゥルメント］（Instrument）モード

［インストゥルメント］モードは Axiom コントロールを Pro Tools のターゲットされたトラック内のさまざまなバーチャル・インストゥルメント・パラメータにマッピングします。この章では、Pro Tools セッション内で読み込まれたインストゥルメントをコントロールするために DirectLink を設定し使用する方法について説明します。

［インストゥルメント］（Instrument）モードの設定

次の手順は、［インストゥルメント］モードの設定方法について説明します。Axiom が正しくインストールされ、ホスト・コンピューターに接続されていることを確認してください。

［インストゥルメント］モードを設定するには：

1 必要に応じて、Pro Tools セッションでインストゥルメント・トラックを作成します。詳細については、『Pro Tools リファレンス・ガイド』を参照してください。

2 バーチャル・インストゥルメントをトラック・インサート・スロットの 1 つに読み込みます。

3 ［フェーダー］ボタンまたは［トラック］ボタンのいずれかでトラックを選択します。

4 ［インストゥルメント］（Inst）を押して DirectLink を［インストゥルメント］モードに切り替えます。ボタンが点灯し、Axiom が［インストゥルメント］モードになることを示します。

5 ［インストゥルメント］ボタンを押したままにして、［インストゥルメント］ウィンドウがを開きます。

［インストゥルメント］（Instrument）モードの使用

Axiom インストゥルメント・マップ

Axiom コントロールのデフォルト・マッピング割り当てを定義する Axiom インストゥルメント・マップ（別名：カスタム・プラグイン・マップ）がそれぞれの AIR バーチャル・インストゥルメントに作成されます。これらのマップは www.m-audio.com/directlink からダウンロードできます。

Axiom インストゥルメント・マップのインストール

Axiom インストゥルメント・マップをダウンロードしたら、次の説明に従ってインストールできます。

Axiom インストゥルメント・マップをインストールするには：

1 ダウンロードした zip ファイルを見つけて開き、Axiom インストゥルメント・マップ（.pim）ファイルにアクセスします。

2 Pro Tools セッションをまだ開いていない場合、開きます。

3 必要に応じて、AIR インストゥルメントのインスタンスをインストゥルメント・トラックに読み込みます。このインストゥルメントはダウンロードしたファイルに対応します。

4 インストゥルメント・ウィンドウを開き、右上隅の［マップ］メニューをクリックします。

5 ［ファイルからプラグイン・マップをインポート ...］（Import Plug-In Map From File...）を選択します。

6 開いている AIR インストゥルメントの .pim ファイルを見つけて選択します。

Windows

［OK］ボタンをクリックして選択を確認します。

Mac OS X

［開く］ボタンをクリックして選択を確認します。

7 インストゥルメントがトラックに読み込まれた場合に Axiom コントロールを常に Axiom インストゥルメント・マップに従ってマッピングするには、［マップ］メニューから［デフォルトに設定］（Set As Default）を選択します。

Axiom インストゥルメント・マップの作成

バーチャル・インストゥルメント・ウィンドウの［学習］ボタンを使用し Axiom インストゥルメント・マップ（別名：カスタム・プラグイン・マップ）を作成することにより Axiom コントロールをインストゥルメントにマッピングする方法を定義できます。

Axiom インストゥルメント・マップを作成するには：

1 ［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押したままにして、バーチャル・インストゥルメント・ウィンドウを開きます。

2 インストゥルメント・ウィンドウの右上隅の画面上の［学習］ボタンをクリックします。ボタンが赤色になります。

3 CTRL+ALT+START キー（Windows）または CTRL+CMD（OS X）をコンピューターのキーボードで押しながら、画面上のコントロールをクリックします。コントロールの画面 LED が赤色に強調表示され、パラメータ名が［学習］ボタンの左に表示されます。

4 再割り当てしている Axiom コントロールを移動します。これは、Axiom コントロールの画面上のコントロールをリンクさせ、新しいパラメータ割り当てが Axiom LCD に表示されます。

5 手順 3 と 4 を繰り返して、もう 1 つのコントロールに再割り当てします。

6 ［学習］ボタンをクリックしてインストゥルメントの［学習］モードを終了します。

7 プラグイン・ウィンドウの右上の［マップ］メニューをクリックして［デフォルトに設定］（Set as Default）を選択します。これにより新しい割り当てが保存され、プラグインがインストゥルメント・トラックに読み込まれるたびに適用されます。

デフォルト・コントロール・マッピングを復元するには、［マップ］メニューから［ファクトリー・デフォルト・マップ］（Factory Default Map）を選択します。

バーチャル・インストゥルメントのコントロール

Axiom でインストゥルメント・トラックをターゲットし、［インストゥルメント］モードを有効にすると（7 ページの［インストゥルメント］（Inst）ボタンを参照してください。）、インストゥルメント名が LCD 画面に表示されます。1 秒後に画面にトラック名が表示されます。トラックをターゲットするために［トラック］ボタン（12 ページの［トラック］（Track）ボタンを参照してください。）が使用された場合、レコーディング用に配備され、キーが押されるとノートが聴こえます。

インストゥルメント・ウィンドウを開く

［インストゥルメント］モードを押したままにすると、再生するバーチャル・インストゥルメントのウィンドウが開きます。

インストゥルメント・プリセット選択

バーチャル・インストゥルメント内のサウンド・パッチは［Axiom パッチ］ボタンを使用して選択します。

インストゥルメント・パラメータの調整

マッピングされた Axiom コントロールが移動されると、そのパラメータ割り当てと数値または位置の値が LCD 画面に表示されます。1 秒後に画面がトラック名を反転します。

Axiom コントロールは［インストゥルメント］ボタンを押すといつでも［ミキサー］モードに戻ります。

Axiom コントロール・タイプとその［インストゥルメント］モード機能の詳細については、第 3 章「DirectLink の Axiom コントロール」を参照してください。

Avid
5795 Martin Road
Irwindale, CA 91706-6211 USA

技術サポート（米国）
オンラインサポートセンター
（www.avid.com/support）
（英語）にアクセスしてください。

製品情報
会社情報および製品情報については、
www.avid.com をご覧ください。